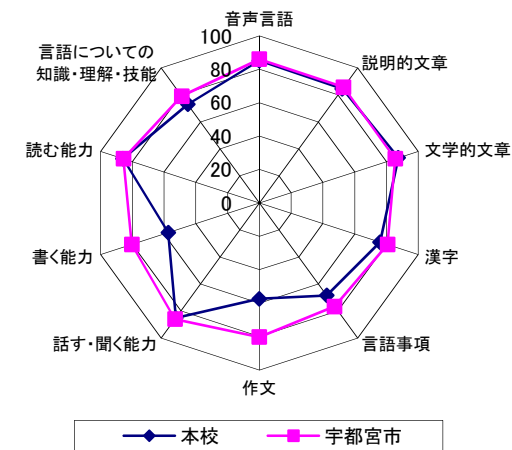


宇都宮市立平石北小学校第5学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	85.2	86.0
	説明的文章	84.4	85.7
	文学的文章	87.4	85.5
	漢字	75.9	80.7
	言語事項	68.5	76.6
	作文	57.4	80.3
観点別	話す・聞く能力	85.2	86.0
	書く能力	57.4	80.3
	読む能力	85.9	85.6
	言語についての知識・理解・技能	73.0	79.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (85.2%)	・平均正答率は85.2%と市の平均とほぼ同じである。話の内容を聞き取ること、話の中心を意識して話を聞くことなどの力が身に付いてきている。	・授業や日常生活の中で、話を聞くときの姿勢や態度、話し手が伝えたいことの中心をとらえて聞くこと、聞きながら大切と思うことをメモする方法について指導を行っていく。また、自分の考えと比べながら話を聞き、わからないことを質問したり、話し手の考えに対する自分の意見を話したりする活動を取り入れていく。
説明的文章 (84.4%)	・平均正答率は84.4%と市の平均とほぼ同じである。文章を読み、文脈に即して内容を理解する問題では正答率が高いが、文章に正しい接続語をあてはめたり、段落と段落の関係を読み取る問題で正答率が低い。	・説明的文章を読み取る学習では、段落ごとに文章を読み、重要な言葉や文に着目して要点をとらえたり、段落の内容から段落相互の関係を読み取り文章全体の要旨をとらえる学習を行い、筆者の言いたいことを正しく理解する学習を行っていく。その過程で、接続語に着目させて文と文のつながりにも注意させる。また、筆者の言いたいことに対する感想や自分の考えをもてるように指導していく。
文学的文章 (87.4%)	・平均正答率は87.4%と市の平均より高い。文章を読み、場面や登場人物の様子を読み取り、登場人物の気持ちを考える力は付いてきている。	・今後も文章を正しく読み、あらすじをとらえたり、場面ごとに物語の出来事を整理したり、登場人物の心情をとらえ、その移り変わりについて考えたりする学習を行い、物語文を楽しく読める力を身に付けていく。
漢字 (75.9%)	・平均正答率は75.9%と市の平均より低い。漢字の読みは、正答率が市の平均とほぼ同じであるが、漢字の書きは正答率が低い。	・反復練習により、当該学年の漢字をしっかりと身に付けられるように指導する。3・4年生で習った漢字についても小テストなどを行い、復習させるようにする。また、普段から習った漢字を必ず使って書くことと、丁寧に書くことの指導を徹底する。
言語事項 (68.5%)	・平均正答率は68.5%と市の平均より低い。言葉の意味の正答率が高いが、修飾語や接続語の問題で正答率が低い。	・正しく修飾語を見つけ、どの語を修飾するのか考えて文を読み取ったり、接続語の意味から、文と文のつながりを考えたりする学習を繰り返し行っていく。また、文に正しい修飾語や接続語を入れていくような問題にも多く取り組ませていく。
作文 (57.4%)	・平均正答率は57.4%と市の平均より低い。問題文で指定された条件通りに文章を書く問題の正答率が低い。	・様々な活動の中で、手紙や感想などの文章を書く機会を多くする。その際に、手紙の文の書き方の形式について指導する。また、書きたいことの中心をはっきりさせて書くように指導する。書いた文章を読み返したり友達が書いた文章を読んだりする学習も取り入れ、文章を正しく自信をもって書けるように指導する。